

年度	2008	学期	前期	曜日・校時	火・3	必修選択	必修	単位数	2 単位
授業科目	情報科学概論				担当教員 (科目責任者)	黒川不二雄			
(英語名)	Introduction to Computer Science				E-mailアドレス	fkurokaw@nagasaki-u.ac.jp			
対象年次	1年次	対象学生	B2+C		研究室	工学部2号館2階 E-207			
講義形態	講義	科目分類	系共通科目		TEL	095-819-2553			
教室	21番教室				オフィスアワー	別途指示する			
担当教員 (オムニバス等)									
授業のねらい	情報技術に関する基礎知識とそれを応用する能力を養う。情報機器を目的に応じて適切に設計あるいは利用できるために、情報に関する基本的な知識を身に付ける。								
授業方法 (学習指導法)	予習レポート提出を課しながら講義形式で授業を行うが、学生の参加を促すために質問を多く取り入れた対話型とする。板書は思考の発展性を考えてマインドマップを用いる。								
授業到達目標	情報を効率よく収集、整理、伝達し、さらに活用するための概念および方法を理解し、実践ができる。								
授業内容(概要)	本講義では、情報を扱う上での基礎を勉学する。								
授業内容 毎週毎の授業内容を含む	<p>1回目 ガイダンス(科目の位置付け、到達目標等を理解する。)</p> <p>2回目 情報史(コンピュータ、通信、情報の歴史を理解する。)</p> <p>3回目、4回目 情報量(情報理論の基礎を理解し、情報量の演算ができる。)</p> <p>5回目 情報処理能力(人間の情報処理能力を理解し、数値化できる。)</p> <p>6回目、7回目 マルコフ情報源(マルコフ情報源を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>8回目～11回目 情報の表現(情報の表現の方法として、数の表現、論理演算を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>12回目、13回目 情報の伝達(情報の伝達、符号化を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>14回目 コンピュータシステム(コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの構成を理解し、簡単な機能を説明できる。)</p> <p>15回目 評価(試験も含む)と指導</p> <p>ホームワーク:授業の予習(課題については授業中に指示する。)</p>								
キーワード	情報量、情報処理能力、マルコフ情報源、情報の伝達								
教科書・教材・参考書	教科書:小野厚夫, 川口正昭:情報科学概論(培風館)								
成績評価の方法・基準等	定期試験80点満点, レポート10点満点, 授業への積極的参加状況10点満点の合計が60点以上を合格とするが, 定期試験で60%(48点)以上をとる必要がある。全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず欠席する場合は個別指導を行うので担当教官に連絡すること。								
受講要件(履修条件)									
本科目の位置づけ ／学習・教育目標	位置付け:工学における情報技術の基礎科目である。 学習・教育目標(JABEEの認定基準との関係)・電気電子工学科 …… (D)を達成するための科目である。 ・情報システム工学科 … (C)を達成するための科目である。								
備考(準備学習等)	発展科目:コンピュータ概論, コンピュータシステム, (デジタル)論理回路, 情報理論他								

年度	2008	学期	前期	曜日・校時	火・4	必修選択	必修	単位数	2 単位
授業科目	情報科学概論				担当教員 (科目責任者)	石塚 洋一			
(英語名)	Introduction to Computer Science				E-mailアドレス	isy2@nagasaki-u.ac.jp			
対象年次	1年次	対象学生	A+B1		研究室	工学部2号館2階 E-211			
講義形態	講義	科目分類	系共通科目		TEL	095-819-2556			
教室	21番教室				オフィスアワー	下記Webサイトを参照の事			
担当教員 (オムニバス等)									
授業のねらい	情報技術に関する基礎知識とそれを応用する能力を養う。情報機器を目的に応じて適切に設計あるいは利用できるために、情報に関する基本的な知識を身に付ける。								
授業方法 (学習指導法)	講義形式								
授業到達目標	情報を効率よく収集、整理、伝達し、さらに活用するための概念および方法を理解し、実践ができる。								
授業内容(概要)	本講義では、情報を扱う上での基礎を勉学する。								
授業内容 毎週毎の授業内容を含む	<p>1回目 ガイダンス(科目の位置付け、到達目標等を理解する。)</p> <p>2回目 情報史(コンピュータ、通信、情報の歴史を理解する。)</p> <p>3, 4回目 情報量(情報理論の基礎を理解し、情報量の演算ができる。)</p> <p>5回目 情報処理能力(人間の情報処理能力を理解し、数値化できる。)</p> <p>6, 7回目 マルコフ情報源(マルコフ情報源を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>8~11回目 情報の表現(情報の表現の方法として、数の表現、論理演算を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>12, 13回目 情報の伝達(情報の伝達、符号化を理解し、主要な計算ができる。)</p> <p>14回目 コンピュータシステム(コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの構成を理解し、簡単な機能を説明できる。)</p> <p>15回目 評価(試験も含む)と指導</p>								
キーワード	情報量、情報処理能力、マルコフ情報源、情報の伝達								
教科書・教材・参考書	教科書:小野厚夫, 川口正昭:情報科学概論(培風館)								
成績評価の方法・基準等	定期試験80点満点, レポート10点満点, 授業への積極的参加状況10点満点の合計が60点以上を合格とするが, 定期試験で60%(48点)以上をとる必要がある。全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず欠席する場合は個別指導を行うので担当教官に連絡すること。								
受講要件(履修条件)									
本科目の位置づけ /学習・教育目標	<p>位置付け:工学における情報技術の基礎科目である。</p> <p>学習・教育目標(JABEEの認定基準との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学科 …………… (D)を達成するための科目である。 情報システム工学科 …… (C)を達成するための科目である。 								
備考(準備学習等)	http://www-ecc.eee.nagasaki-u.ac.jp/eee/ics/								

